



苫小牧市議会議員
小山 征三

通信

『春』号
2017年 4月

小山せいぞう事務所

苫小牧市ときわ町1丁目19-23

TEL0144(67)8255

平成29年度予算可決 総額 1,324億8,006万7千円

市議会第9回定例会は、2月24日（金）から3月17日（金）まで行われ新年度の市長の市政方針及び教育長の教育行政執行方針が示されました。平成29年度予算の総額は1,324億8,006万7千円となり、予算審査特別委員会では、I R（カジノを含む統合型リゾート）、駅前商業ビル「エガオ」問題、日本女性会議、J R北海道、（仮称）市民ホール、下水道使用料未徴収などについて議論しました。

一般会計予算は、753億1,600万円で3年連続減少しています。ただ、老人福祉費や生活保護費などを含む民生費は年々増加しており、歳出総額の占める割合は36.07%となりました。

(単位：千円)			
会 計 名	29年度予算	28年度予算	27年度予算
一般会計	75,316,000	77,824,000	79,152,000
特別会計			
国民健康保険事業	19,976,301	20,775,850	20,620,307
霊園事業	94,415	85,099	98,125
介護保険事業	13,131,785	12,295,939	12,046,792
後期高齢者医療	2,007,261	1,922,131	1,966,241
計	35,209,762	35,079,019	34,731,465
企業会計			
水道事業	4,551,828	4,228,506	4,205,530
下水道事業	6,047,682	6,190,772	6,054,140
市立病院事業	11,205,719	11,150,693	11,021,601
公設地方卸売市場事業	149,076	152,378	175,464
計	21,954,305	21,722,349	21,456,735
合 計	132,480,067	134,625,368	135,340,200

	29年度予算	
	内 訳	構成比
議会費	296,516	0.39
総務費	3,810,586	5.06
民生費	27,170,119	36.07
環境衛生費	4,985,977	6.62
労働費	297,833	0.40
農水産業費	49,542	0.07
商工費	3,638,868	4.83
土木費	6,129,230	8.14
消防費	645,795	0.86
教育費	3,190,691	4.24
公債費	7,488,723	9.94
諸支出金	7,336,496	9.74
職員費	10,245,624	13.60
予備費	30,000	0.04
合計	75,316,000	100.00

さらに関連議案として、総合戦略を推進する基金を設置するための「苫小牧市総合戦略推進基金条例」の制定や市長等の給料の減額措置の延長等を整備する「苫小牧市特別職の職員の給与に関する条例」の一部改正などが提案されました。

また、平成29年度一般会計補正予算（第1回）では、I R推進法の成立に伴い民間事業者に対するI R投資意向調査のための「統合型リゾート投資意向等調査検討事業費」4,521万円について議論しました。

統合型リゾート（I R）は、苫小牧市に必要か？

苫小牧市は、政府が成長戦略に位置付けている「統合型リゾート」の実現に向けて補正予算を計上しました。既にI R誘致を表明している岩倉市長は、2年前に400万円の税金を投入して可能性調査報告書をまとめましたが、未だに市民の意見集約に着手せず、賛否も求めています。当時の予算審議では、2回のセミナー開催が掲げられていましたが、答弁では「市民への情報共有の場として十分ではない。出来る限り市民の皆さんが参加して議論できるような情報提供の手法などを検討して参ります」と述べていました。しかし、実際は2回の出前講座だけで、約50名しか参加してないことも明らかとなりました。市側は、I R推進法の国会審議があり、思うように進められなかった点を認めました。可能性



調査で市民判断や理解を得ていない状況で投資意向等調査検討事業として4,521万円の提案では、到底理解されるものではありません。

IR誘致は、市民が判断！

一般的にIRは、リゾート中心の施設で、全体に占めるカジノ部分の面積は5%未満に過ぎないと説明しています。しかし、売上高では80%以上を稼ぎ出しているのがカジノで、収益メカニズムは、施設全体が集客しカジノ部分で集中的に収益化する仕組みとなっています。

私は、誘致を想定する場所が新千歳空港周辺のため、千歳市など近隣自治体の協議状況を問うとともに、新たに設置する国際リゾート戦略室に市民意見の窓口を設けるよう強く求めました。市長は、より具体的になった段階で、千歳市長や周辺の首長に苫小牧市の考え方を説明するつもりです。また、市民意見の窓口設置は、貴重な提案なので検討したい旨の答弁がありました。

苫小牧市は、先人たちが企業誘致で築き上げてきたまち。今、岩倉市長は、企業誘致とIR誘致を掲げています。治安が悪化すれば企業が撤退する可能性があるIR誘致。果たして「二兎を追う者は一兎をも得ず」とはならないのか？

苫小牧市民報

2017.3.8掲載

周辺自治体に理解求める

IR誘致 市民向けセミナーも

苫小牧市

苫小牧市の岩倉博文市長は7日、カシノを含む統合型リゾート施設（IR）の誘致をめぐる、周辺自治体にも理解を求め、市民向けセミナーも開催する意向を示した。同日の一般会計予算審査特別委員会、小山征三氏（民進党・市民連合）への答弁。小山氏はIR誘致で近隣自治体とも協議する意向をただした。岩倉市長は数年前に千歳市役所を訪れ、IR誘致に向けた考えを千歳市長に伝えたことを紹介した上で「IR誘致が、より具体的な段階に入った時には、千歳市長や周辺の首長にも苫小牧市の考え方を説明する」と答えた。

IR実現は岩倉市長の3期目の任期中にはできない点を、岩倉市長は「急ぐ理由はあるのか」と複数の議員が質問した。

IR実施法がまだ未整備な状況などを踏まえ、補正予算案に計上した点に「急ぐ理由はあるのか」と複数の議員が質問した。

岩倉市長は「今の段階では答えられない。議員の感情に任せたい」と述べるに止めた。

この他に、氏が「17年度一般会計補正予算案に4500万円を計上したIR関連事業の内容を信頼した。市は市民理解を進めるため、月1回程度のペースで専門家招いたIRの市民セミナーを市民会館で年10回開催し、IR事業者の意向調査に開催して副市長と職員など計5人分の来客などへの海外視察を同計画している」と説明した。

岩倉市長は「今の段階では答えられない。議員の感情に任せたい」と述べるに止めた。

この他に、氏が「17年度一般会計補正予算案に4500万円を計上したIR関連事業の内容を信頼した。市は市民理解を進めるため、月1回程度のペースで専門家招いたIRの市民セミナーを市民会館で年10回開催し、IR事業者の意向調査に開催して副市長と職員など計5人分の来客などへの海外視察を同計画している」と説明した。

道内でIR誘致に取り組む自治体

北海道
釧路市
留寿都村
苫小牧市

公共施設の総延床面積2%を縮減

平成29年3月15日（水）に総務委員会（委員長 小山征三）が開催され「CAPプログラムパート3（案）」について、本年1月30日の閉会中審議を経て、にぎわいの創出や公共交通の利便性など多くの意見が出されました。パート3では、将来の人口減少・超高齢社会を見据えた「持続可能なまちづくり」の実現に向けて取り組むことが明らかになりました。



また、「苫小牧市公共施設等総合管理計画」では、市内の公共施設は、学校が全体の37.7%を占め、次いで公営住宅が31.1%。築年数で比較すると40年以上の建物は、公営住宅と学校であることが示されました。今後の課題を整理すると、少子高齢化が進むなか、社会保障等による歳出が増加すると予測されることから投資的経費を増加させることは難しく、公共施設（建築系施設）の総延床面積は、今後10年間で2%縮減を目標値とすることが説明されました。

税金を投入したカードの扱いが不適切

昨年8月にスタートした「とまチョップポイント事業」は、6ヶ月間カードが使われない場合にポイントが失効します。その周知方法と失効した金額について答弁を求めました。

市側は、失効したポイント分は、2月末で21万9,942ポイントであることを明らかにし、周知方法については今後、工夫したいとしました。

また、昨年度、1枚200円の税金を投入して用意した5万枚のカードの扱いもいただきました。地域の飲食店では、丁寧に説明して配布されているカードが、一部の場所では、無人で「自由にお持ちください」と放置されていることを問題視。何枚でも自由に持って帰れることからインターネットオークションにも出品されていることが判明しました。

市は、ネットオークションに出品されていることを確認した上で、本意でない、極力このようなことがないようにカードを丁寧に扱ってネット流出抑制につなげたいと述べました。

